

日本海事協会・カーボントラスト共催 Webinar

2022年8月3日水曜日 16:00-17:30

<テーマ> “サステナブル金融と環境情報開示”

経産省からトランジションファイナンスに関する基本方針や、ロードマップが次々に発表され、ネットゼロに向けてのトランジションファイナンスを含めたサステナブル金融への注目が広がっております。

一方で、企業の環境情報開示においては、前回3月のWebinarにて確認されたように、2050年までにバリューチェーン全体でのネットゼロ達成に向けて、サプライチェーンを通じての開示要請と、金融機関から投融資先への開示要請という2つの経路を通じて、確実に開示企業の数が増大しています。

その金融機関からの要請のもとになっているのが、**PCAF (Partnership for Carbon Accounting Financials)** であり、金融機関は、自らの情報開示のために、投融資先の投融資額に応じたGHG排出量を算定してSCOPE3のカテゴリー15として報告することが必要となり、金融機関による投融資先への新たなエンゲージメントが重要になってきています。

今回のWebinarでは、サステナブル分野での金融と企業の関係に焦点をあて、企業情報開示での最近の動向と、サステナブル金融の最近の動向を見たとえ、PCAFとはどんなものなのか、金融機関と投融資先企業のエンゲージメントの観点で、PCAFがどのように導入されているかを欧州の事例から学びたいと思います。

PCAFに関わる金融機関の方、環境情報開示に関わる企業の方、サステナブル金融に関わる金融機関の方、ファイナンスに関わる企業の方など、幅広い皆様のご参加をお待ちしております。

<日時> 2022年8月3日（水曜日） 16:00-17:30

<形式> ZOOM によるオンラインウェビナー

<申し込み> https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_1mImvgC9RyqneznWdTHIQQ

<プログラム>

司会：日本海事協会 環境・再生可能エネルギー部 磐淵 哲兵

- 1 開会挨拶（5分）-日本海事協会 調査開発センター長兼交通物流部長 平田 純一
- 2 “企業情報開示の最近の動向”（20分）-株式会社 KENCY 代表取締役 山口 健一郎
- 3 “サステナブル金融をめぐる最近の動向”（20分）
- 日本海事協会 調査開発センター 本多 史裕
- 4 “PCAF導入で金融機関に何が起きているか、欧州の事例”（30分）
-カーボントラスト社 シニアマネジャー：Pietro Rocco
5. 質疑応答（15分）

<主催者について>

Carbon Trust（カーボントラスト） <https://www.carbontrust.com/what-we-do> は英国政府により設立され、その後独立した環境コンサル組織。 ミッションは持続可能な低炭素社会への移行を加速させることであり、英国社会でもネットゼロにおいて中心的な役割を担っています。

（主な業務） 企業向けカーボンフットプリント等、 炭素排出削減方法のアドバイス • 政府機関向けの環境・エネルギー政策 提言 • 新エネルギー関連技術開発支援のプログラムを運営 • 洋上風力発電関連業務 等

ClassNK（一般財団法人日本海事協会） <https://www.classnk.or.jp/hp/ja/index.html> は、船舶を始めとした交通物流を中心として、検査や認証を提供する第三者機関。長年の経験や知見に基づく最高品質のサービスを提供し、また、国際的認証機関として全世界的な活動を展開しています。

（情報開示支援業務） 国際的な気候変動イニシアチブ対応をサポートする気候変動対応情報開示支援業務、サプライチェーンも含めてGHGの排出事態を把握、分析し排出ネットゼロに対応するGHGの見える化業務、シナリオ分析を基にリスクと機会を把握し、対策のためのロードマップ作成を支援する業務 等